

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	二葉ファッションアカデミー
設置者名	学校法人 古屋学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
服飾専門課程	ファッション総合学科	夜・通信	1155	160	
	ファッション専攻科	夜・通信	630	80	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

本校ホームページにて、実務経験のある教員等による授業科目の一覧表を公表。
<https://furuya.ac.jp/fashion/wp-content/uploads/2019/07/teacher.pdf>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	二葉ファッションアカデミー
設置者名	学校法人 古屋学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

学園ホームページにて、理事（役員）名簿を公表。

<https://furuya.ac.jp/information/officer/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	社会福祉法人 理事長	2019.4.1 ~ 2023.3.31	教育内容・学科編成 に対する専門的知見
非常勤	税理士	2019.4.1 ~ 2023.3.31	組織運営体制
(備考)			

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	
設置者名	

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	
役割	

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	二葉ファッションアカデミー
設置者名	学校法人 古屋学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>ファッション総合学科 昼間部 (2年制)、ファッション専攻科 昼間部 (1年制)</p> <p>【作成について】</p> <p>各授業科目については、毎年度学内会議により授業科目の設定、講義内容についての検討、検証を行い、最終的に担当教員が作成を行っている。</p> <p>学内の教員用内規(シラバス作成の方法と手引き)の中で、授業科目名、必要時間数、担当教員名、授業の到達目標及びテーマ、講義概要、授業計画(各回の授業プラン)、成績評価方法、教科書及び参考書に関する事項は全科目共通で記載することが必須となっており、学内統一様式でシラバス作成を行っている。</p> <p>【時期について】</p> <p>翌年度の講義予定(授業計画)は12月～1月に担当教員が作成し、3月の理事会時の議案で翌年度の事業計画が承認されることで正式決定する。3月下旬を目標に、翌年度分のシラバスをホームページ上に公開する</p>	
授業計画書の公表方法	<p>本校ホームページにて公表。</p> <p>https://furuya.ac.jp/fashion/syllabus-page/</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業案件について規定している。また、成績評価、履修、進級、卒業案件については、別途詳細を規定している。各学年で定める授業科目の試験(レポート含む)により成績評価を行っている。成績評価及び進級・卒業案件については、学則細目第十四条により規定されている。</p> <p>(参考)</p> <p>専門課程において、成績評価は定期試験の評点及び実技試験(レポート等、指導者の指定する方法を含む)の評点を合計し、両試験共に100点満点における60点以上を合格とし、合格者は該当科目の履修が認定される。なお、授業科目のうち、出席が2/3以下の生徒については、その成績評価の対象としない。</p>	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則の細目について、GPA(Grade Point Average)に準じた点数制度を導入し、学内の成績評価として使用している。(GPAは生徒の履修した1授業科目当たりの平均成績を指す)</p> <p>【作成について】</p> <p>学業成績は、授業科目ごとに行う試験(定期試験、実技試験)及び平常点等シラバスで指定した評価項目によって評価される。当校では各授業の評価は100点満点を基準として、60点以上を合格としている。合格者の中でも、評価点数により100~90をA、89~80をB、79~70をC、69~60をDとして、成績が通知される。各授業の成績評価を既定の数値に置き換え、1授業当たりの平均成績を算出する。各成績はA(4点)、B(3点)、C(2点)、D(1点)に換算する。GPAに準ずる評価は(Aの授業数×4+Bの授業数×3+Cの授業数×2+Dの授業数×1)の合計を、各生徒が履修済みの総授業数で除した数を求めることによって算出する。</p> <p>成績評価方法については、学則細目をホームページ上で公開するほか、入学時オリエンテーションで入学生等に通知している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>本校ホームページにて公表。 https://furuya.ac.jp/fashion/wp-content/uploads/2019/07/f_hyouka.pdf</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>学則の細目において、学内の成績評価、履修、卒業案件について規定している。また、成績評価、履修、進級、卒業案件については、別途詳細を規定している。成績評価及び、進級・卒業案件については、学則細目第十四条により規定されている。以下に評価基準の詳細を記す。</p> <p>進級・卒業については、学年毎に定められた所定の全授業科目について合格することを、その要件とする。本校所定の課程を修了した者には、試験等による学業評価の上、卒業証書を授与する。</p> <p>卒業は各課程、規定日数の三分の二以上の出席者である事を要する。</p>	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>本校ホームページにて公表。 https://furuya.ac.jp/fashion/wp-content/uploads/2019/07/f_graduation.pdf</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	二葉ファッションアカデミー
設置者名	学校法人 古屋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/2020%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%80%80%E8%B2%A1%E5%8B%99%E6%83%85%E5%A0%B1.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/2020%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%80%80%E8%B2%A1%E5%8B%99%E6%83%85%E5%A0%B1.pdf
財産目録	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/2021_財産目録.pdf
事業報告書	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/2021_事業報告.pdf
監事による監査報告（書）	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/2021_監査報告.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専門課程	ファッション総合学科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2170単位時間	1050 単位時間	70 単位時間	1050 単位時間		
			2170単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
200人		23人	0人	4人	5人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 https://furuya.ac.jp/fashion/syllabus-page/
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 https://furuya.ac.jp/fashion/wp-content/uploads/2019/07/f_hyouka.pdf
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 https://furuya.ac.jp/fashion/wp-content/uploads/2019/07/f_graduation.pdf

<p>学修支援等</p> <p>(概要) 演習及び実習の中で、理解が不十分な点は授業外の個別指導で理解を深める。また、随意担任教員による相談受付や面談、進路指導、コンテストなどの外部プロジェクトへの参加も行い、意欲的な学生の学修支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
10人 (100%)	2人 (20%)	8人 (80%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 就職者は100%アパレル関連企業へ就職 (株)ファイブフォックス、(株)パル、(株)ニ科尔等			
(就職指導内容) キャリアガイダンスの実施、応募書書類作成指導、模擬面接等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) パターンメイキング技術検定3級、ファッションビジネス能力検定2級、ファッション販売能力検定2級等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13人	3人	23%
(中途退学の主な理由) 進路変更のため		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとの担任との個人面談に於いて、職種・進路相談や修学上の不安事項についての相談を受け付けている。進路変更希望者には、進路の相談や職種アドバイス、斡旋を行っている		

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	二葉ファッションアカデミー
設置者名	学校法人 古屋学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/2020%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%80%80%E8%B2%A1%E5%8B%99%E6%83%85%E5%A0%B1.pdf
収支計算書又は損益計算書	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/06/2020%E5%B9%B4%E5%BA%A6%E3%80%80%E8%B2%A1%E5%8B%99%E6%83%85%E5%A0%B1.pdf
財産目録	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/2021_財産目録.pdf
事業報告書	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/2021_事業報告.pdf
監事による監査報告（書）	https://furuya.ac.jp/wp-content/uploads/2021/05/2021_監査報告.pdf

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
服飾・家政		服飾専門課程	ファッション専攻科				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	875単位時間	210 単位時間	35 単位時間	630 単位時間	単位時間	単位時間
			875単位時間				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
10人		2人	0人	4人	5人	9人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画） （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照 https://furuya.ac.jp/fashion/syllabus-page/
成績評価の基準・方法 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の3.を参照 https://furuya.ac.jp/fashion/wp-content/uploads/2019/07/f_hyouka.pdf
卒業・進級の認定基準 （概要） 様式第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の4.を参照 https://furuya.ac.jp/fashion/wp-content/uploads/2019/07/f_graduation.pdf

<p>学修支援等</p> <p>(概要) 演習及び実習の中で、理解が不十分な点は授業外の個別指導で理解を深める。また、随意担任教員による相談受付や面談、進路指導、コンテストなどの外部プロジェクトへの参加も行い、意欲的な学生の学修支援を行っている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数 (直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
4人 (100%)	0人 (0%)	3人 (75%)	1人 (25%)
(主な就職、業界等) 就職者は100%アパレル関連企業へ就職 (株)タカラ、(株)ガレージインダストリー、(株)ワークス			
(就職指導内容) キャリアガイダンスの実施、応募書書類作成指導、模擬面接等			
(主な学修成果 (資格・検定等)) パターンメイキング技術検定2級等			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
4人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 半期ごとの担任との個人面談に於いて、職種・進路相談や修学上の不安事項についての相談を受け付けている。進路変更希望者には、進路の相談や職種アドバイス、斡旋を行っている		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
ファッション 総合学科	200,000 円	646,000 円	525,000 円	施設費、冷暖房管理費
ファッション 専攻科	150,000 円	650,000 円	318,000 円	施設費、冷暖房管理費
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校ホームページで公表している。 https://furuya.ac.jp/fashion/information/evaluation/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 二葉ファッションアカデミーの教育活動及び学校運営の状況に係る評価を行う為に、学校関係者評価委員会を組織し評価を行っている。評価内容は、理事会、校長会、教務会に報告され共有、次年度以降の運営改善に繋げている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
専修学校団体 常任理事 専門学校 相談役	2021. 4. 1～ 2022. 3. 31	関連団体
アパレル捺染工場 代表	2021. 4. 1～ 2022. 3. 31	関連企業
ユニフォーム製造卸会社 部長	2021. 4. 1～ 2022. 3. 31	卒業生・関連企業
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 前年度評価について、学校ホームページで公表している。 https://furuya.ac.jp/fashion/information/evaluation/		
第三者による学校評価 (任意記載事項) 2015年に、アパレル企業、アパレル関連団体、大学教授等有識者で構成された「ファッション分野における職業実践専門課程の質保証の評価を推進する事業」に参画し第三者評価を受審、適正な教育活動が行われていると認められた。(文科省受託事業)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://furuya.ac.jp/fashion/
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「-」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校名	二葉ファッションアカデミー
設置者名	学校法人 古屋学園

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		-人	-人	-人
内 訳	第Ⅰ区分	-人	-人	
	第Ⅱ区分	-人	0人	
	第Ⅲ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				-人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当し

たことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等		
	年間	前半期	後半期
短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定	人	0人	-人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)	人	0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当	人	0人	0人
計	人	0人	-人
(備考) 『右以外の大学等』欄には修業年限3年以上の学科・コースの人数を、『短期 大学(修業年限が2年のものに限る、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認 定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)]欄に は修業年限2年以下の学科コースの人数を、それぞれ記入。			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、
 当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得な
 い事由があると認められず、遡つて認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間	人	前半期	0人	後半期	-人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）
 の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人

(備考)

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あっては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)	人	0人	0人
GPA等が下位4分の1	人	0人	-人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況	人	-人	0人
計	人	-人	-人

(備考)

右以外の大学等』欄には修業年限3年以上の学科・コースの人数を、『短期大学(修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。)、高等専門学校(認定専攻科を含む。)及び専門学校(修業年限が2年以下のものに限る。)]欄には修業年限2年以下の学科コースの人数を、それぞれ記入。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A 4とする。